

事業計画書

事業名	コミュニティの力で社会の仕組みを変えていく コミュニティ・オーガナイズングをはじめよう
実施場所	沼津市日の出町 サンウエル沼津 他
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

地域課題について調査研究を行い、持続可能な地域づくりを支えるシンクタンク(市民ファンド、協同組合などの研究も含む)の創設に向け、組織作り行っていく。そのために、社会をよりよくするための組織のあり方や社会への働きかけ方の手法(=コミュニティ・オーガナイズング)を学び、人材育成を行い、持続可能な地域づくり(=社会的連帯経済)を学ぶ。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

「地域づくり」が、政策の焦点となっているが、「市民の、市民による、市民のための地域」を理論的・具体的に構成する実践は、いまだ始まっていない。これは、市民の権利を基盤とするアプローチが弱いことであり、その結果、地域づくりの過程において、市民の主体化が進まないということにある。いわゆる社会運動基盤の、市民活動をつくるプラットフォームとして市民シンクタンクを措定し、これを現実にも動かすことで、地域づくりの基盤をつくる。

市民が地域課題について行政任せでなく、地域住民が主体的に協力しながら取り組むしくみや、社会への働きかけ方の手法(コミュニティ・オーガナイズング)を学び、人材を育成することにより、持続可能な「地域づくり」(=社会的連帯経済)が行うことができる。また、地域課題について調査研究を行い、持続可能な地域づくりを支えるシンクタンク(市民ファンド、協同組合などの研究も含む)創設するための組織作りの基盤を作ることができる。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 ・市民シンクタンク創設実行委員会を定期的に開催(月に1回程度)を行い、創設に向けた組織づくりや仕組みについてミーティングを行う。 ・コミュニティ・オーガナイズング連続講座を開催する(3回) 会場 サンウエル沼津 大会議室又は、市立図書館 第1,2講座室 講師予定者 静岡県立大学 国際関係学部教授津富宏氏 参加者 各回30名 資料代各回1000円 ・持続可能な地域づくりのための社会的連帯経済についての講座&ワークショップを開催する(1回) 講師予定者 立教大学 コミュニティ福祉学部教授 藤井敦史氏
2019年4月上旬	広報掲載依頼、チラシ作成
2019年5月中旬	広報掲載、チラシ配布
2019年6月上旬	申込開始
7月上~8月下旬	コミュニティ・オーガナイズング連続講座(1回目~3回目)
8月下旬	社会的連帯経済 講座&ワークショップ(連続講座を元に地域課題についてテーマを決めて、参加者で実践について提案する)
9月上~2月上旬	実践活動を行う(チームが複数できると仮定、実践活動についてはチームで調達する)
2020年3月上旬	活動報告書作成

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
「地域づくり」を進める上で市民参加が不可欠だが、地域を組織化していくコミュニティ・オーガナイザーを育成していくことが必要である。そして、戦略的に組織化し、具体的に持続可能な地域づくりを支えることができる人材を育成することにより、地域課題解決を行政任せではなく、市民の主体化が進む。			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。
	1 コミュニティ・オーガナイジ ングの成果である「戦略表」を参加 者の70%が作成することができる		1 研修終了時の課題作成による
	2 社会的連帯経済の具体案を参加 者の70%が作成することができる		2 研修終了時のレポートによる

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。現在沼津市には市民活動センター活動拠点はあるものの、活動についての相談できる中間組織がない。市民活動を活発化し、持続的に活動できるための資金などの調達などを、行政だけに任せるのではなく、市民自らが立ち上げて、NPOだけでなく、小さな市民団体も、活動しやすいスキームを持つことが必要だと考える。
地域性	※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 沼津市民ファンドは、他行政にはない、自由度が高い補助金であり、スタートアップとして市民活動のしやすさがある。また、利用したことで、他団体とも繋がりやすくなり、様々な地域課題について一緒にとりこんでいく仲間づくりがしやすい。横軸の繋がりを生かし、市民の主体性をボトムアップしていくことができると考える。
先導性	※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 市民ファンド事業が今後縮小や廃止となったときに、市民活動が停滞することがないように仕組みを、市民が共に作っていくことにより、持続可能な地域づくりを行うことができると考える。
発展性 ・ 継続性	※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。 すでに市民ファンドを立ち上げている団体の視察や学習会などを行い、市民活動が継続的に 行う市民ファンド研究会を作り、実践する。また市民シンクタンクの事業として発展性が望める。
実現性 ・ 妥当性	※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 市民シンクタンク立ち上げのための研究などは別事業として行い、本事業は立ち上げまでに必要な仕組みづくり、ネットワーク形成などに必要な人材育成をメインに行う。
活動に 対する 熱意	※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 市民ファンド事業などの財源は私たちの税金である。その税収は減少している。いつまでも補助金や助成金頼みの市民活動のままでは、活動の目的意識が薄れ、活動費ありきの市民活動になりかねない。また様々な社会問題が私たちの暮らしに影響を与え、人口減少社会となり、地域が衰退し、市民活動をの担い手が育たずに、行政任せであるが、「地域づくり」をもう一度市民で考えていくことで、新しい地域づくりが始まると考えている。その担い手である人材を育てていき、支えることのできる仕組みを作りたい。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。
次年度までには（仮）沼津市民シンクタンク創設実行委員会から 市民シンクタンクを立ち上げ、次年度は、市民シンクタンクとして市民ファンド、協同組合などの研究会の立ち上げを行う予定。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。
